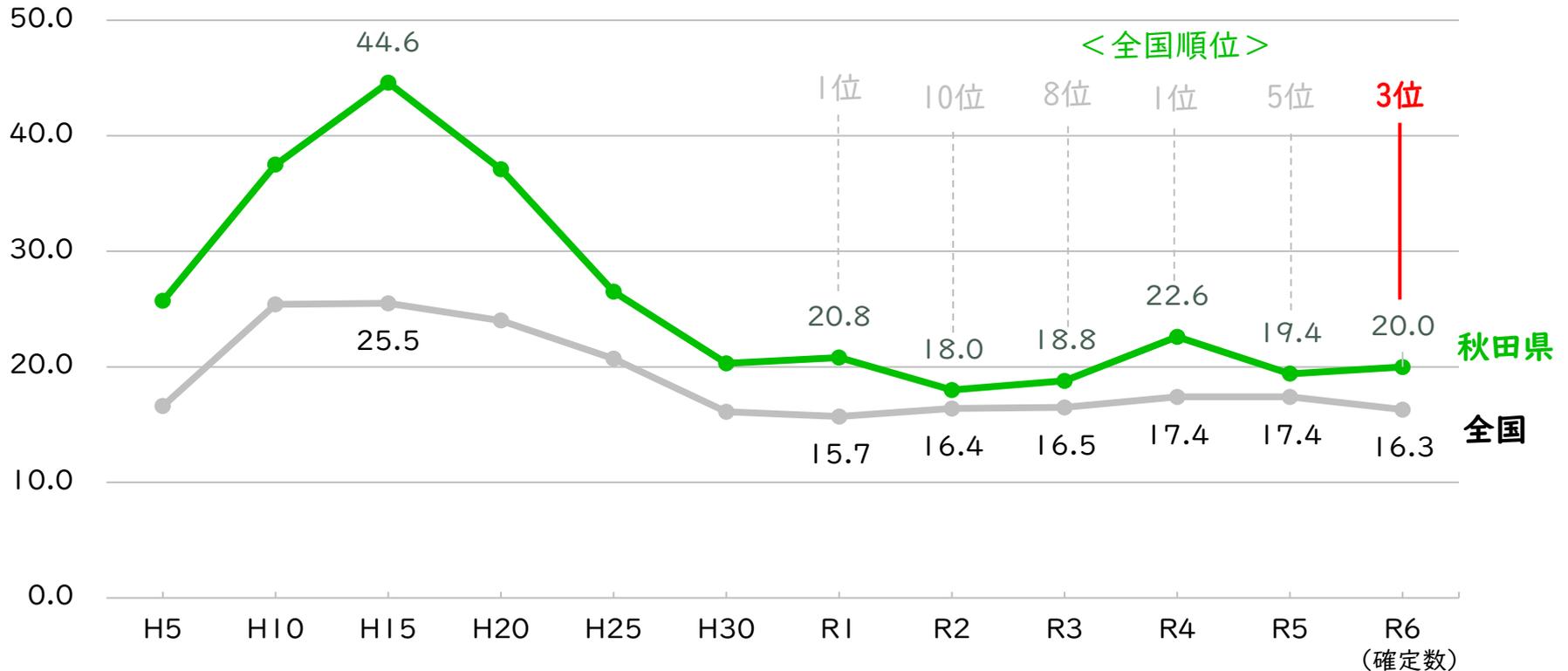


# 自殺死亡率の推移（人口動態統計）

- 平成15年のピーク以降、近年では半分程度まで減少している。
- 令和6年は、自殺死亡率が20.0、全国3位であった。

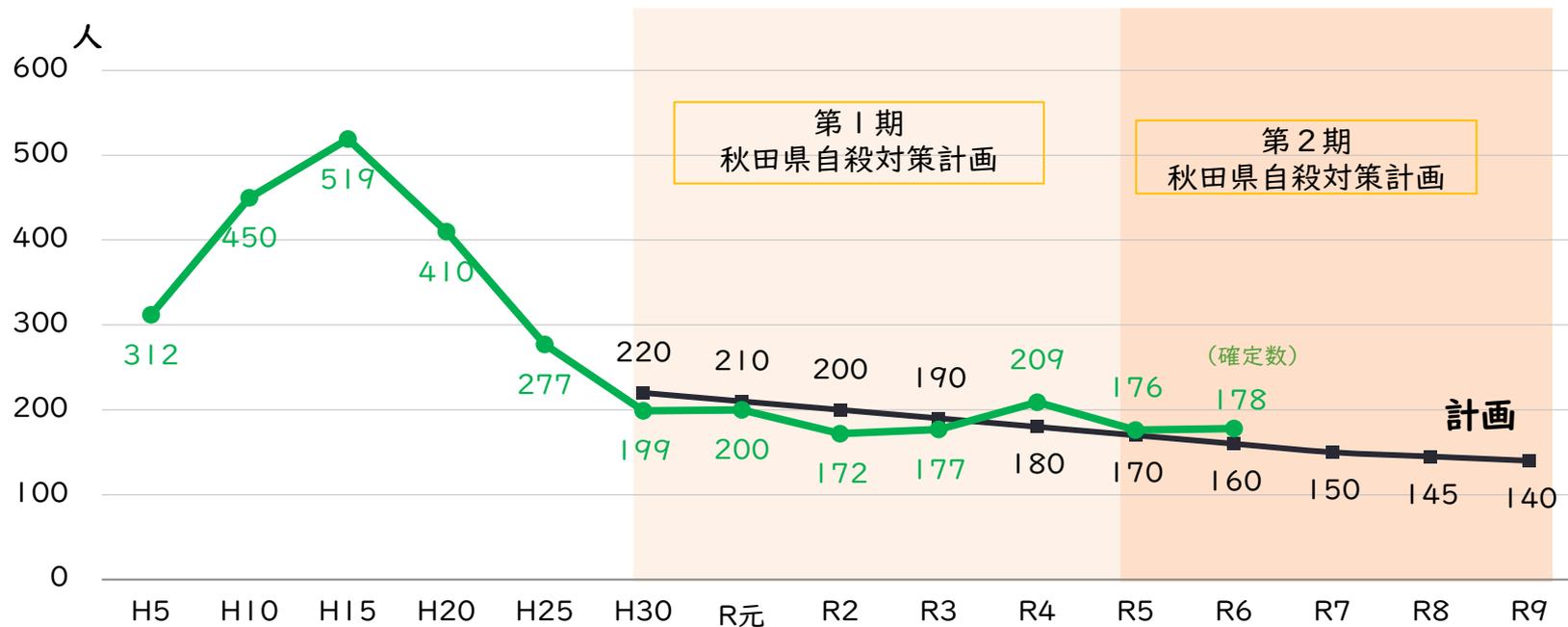


(出典) 厚生労働省「人口動態統計」

(※) 自殺死亡率：人口10万人当たりの自殺者数

## 自殺者数の推移と計画における目標値（人口動態統計）

- 令和6年の自殺者数は178人と、前年から2人の増となった。
- また、目標（160人）の達成には至らなかった。



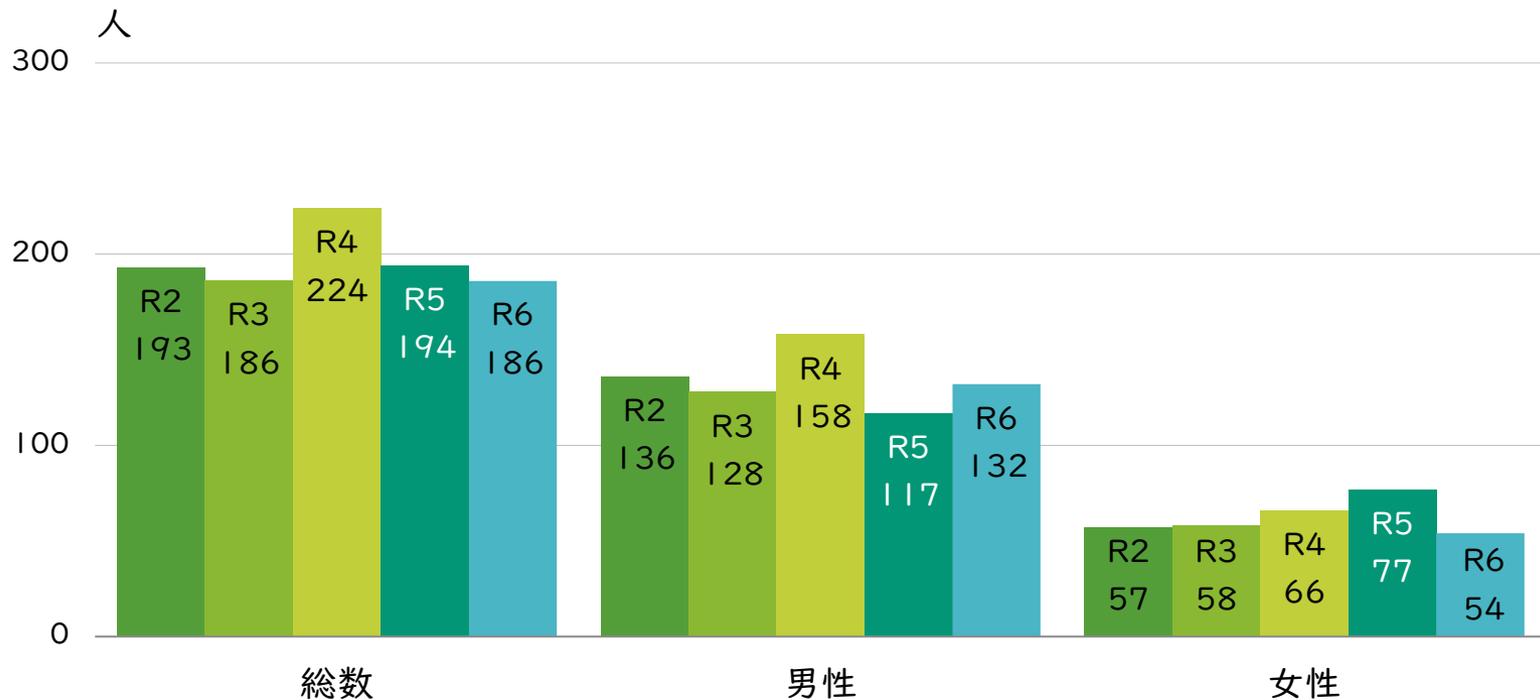
(出典) 厚生労働省「人口動態統計」

(参考) 人口動態統計と警察統計の集計方法等の違い

	人口動態統計	警察統計
対象者	日本人のみ	外国人を含む
地域区分	住所地	発見地
計上時点	死亡時点	発見時点
公表時期	5カ月後(概数)	翌月(速報)

## 自殺者数の推移（秋田県・R2～6）

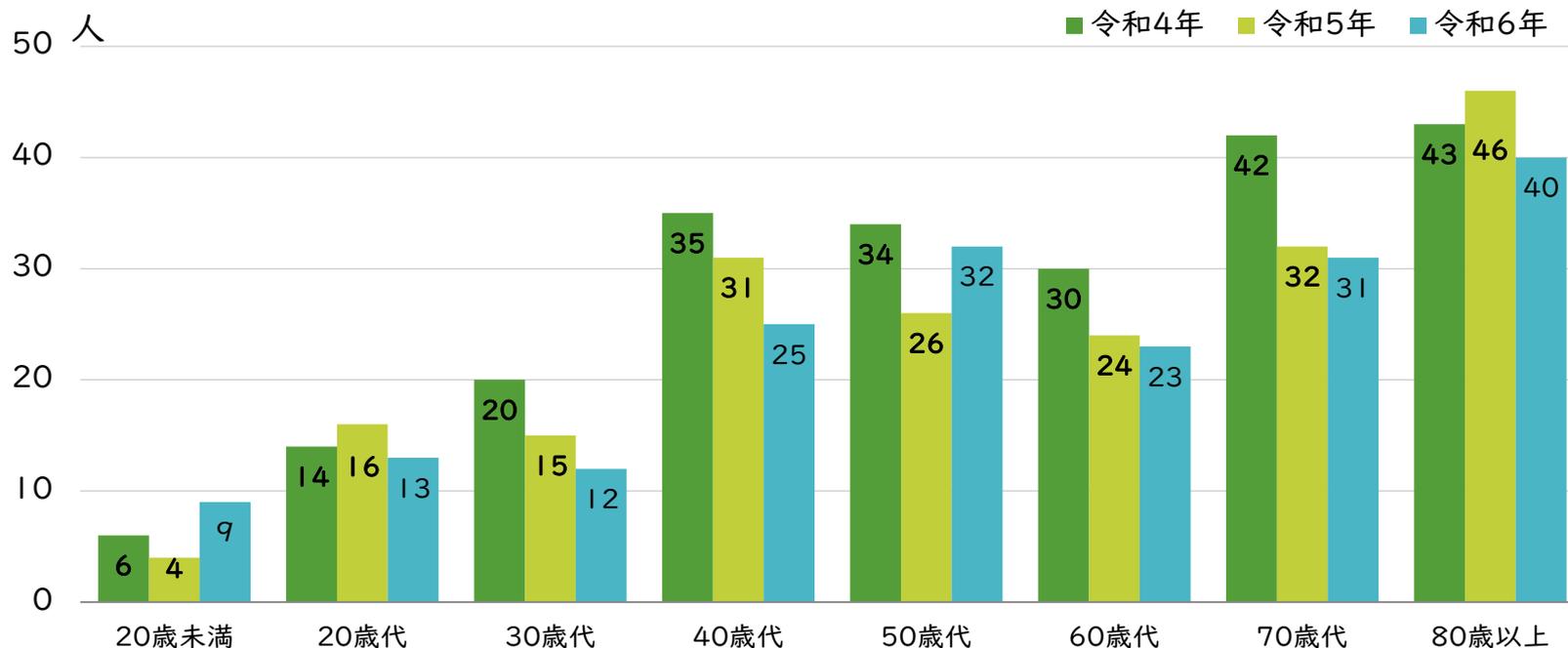
- 令和6年は、総数としては減少（△8人）した。
- 男性が増加（+15人）し、女性は減少（△23人）となった。



（出典）警察庁の自殺統計に基づき厚生労働省公表「地域における自殺の基礎資料」

## 年代別の自殺者数（秋田県・男女計・R4～6）

- 令和6年は、80歳以上の高齢者の自殺者数が多く、次いで、50歳代となっている。
- 20歳未満と50歳代の自殺者数が、前年に比べ増加している。

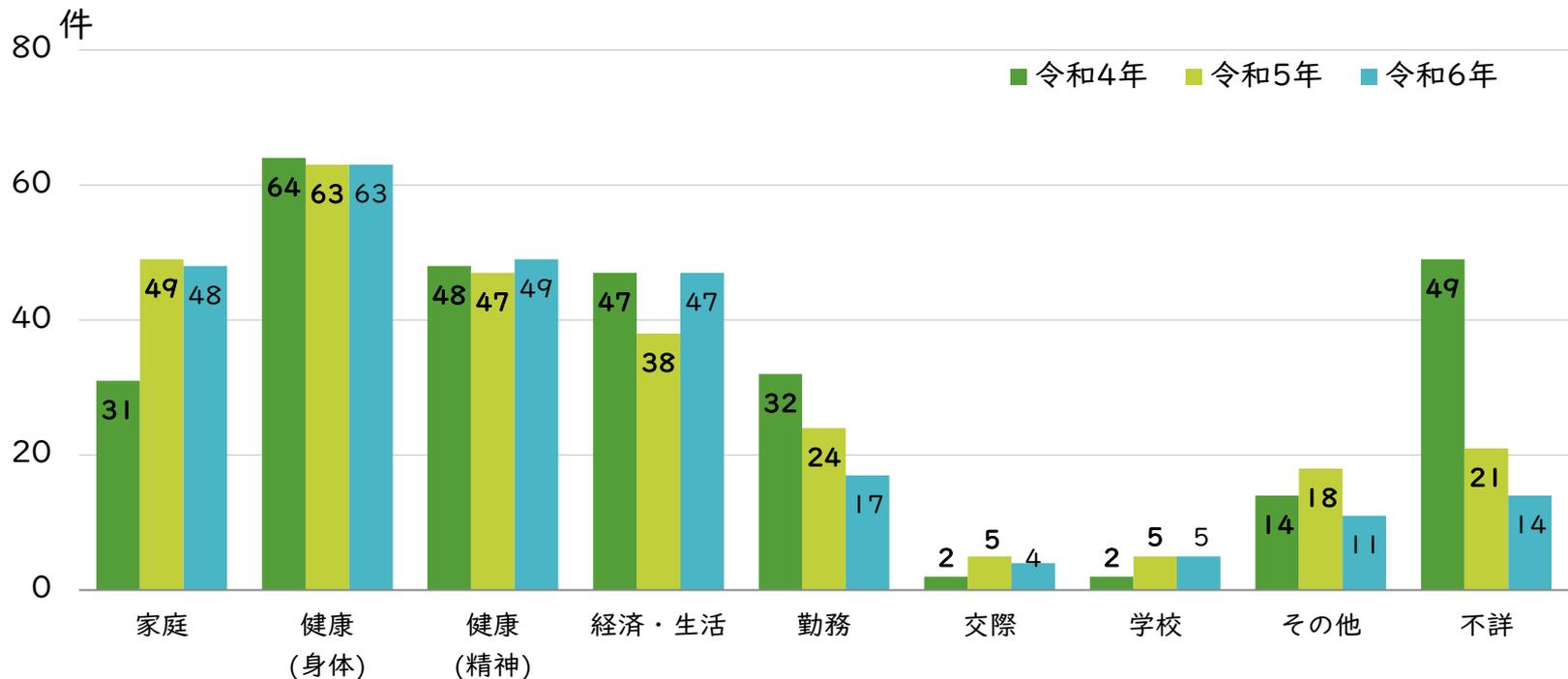


（出典）警察庁の自殺統計に基づき厚生労働省公表「地域における自殺の基礎資料」

※R6年 年齢不詳1名あり

## 原因別の対前年自殺件数（秋田県・男女計・R4～6）

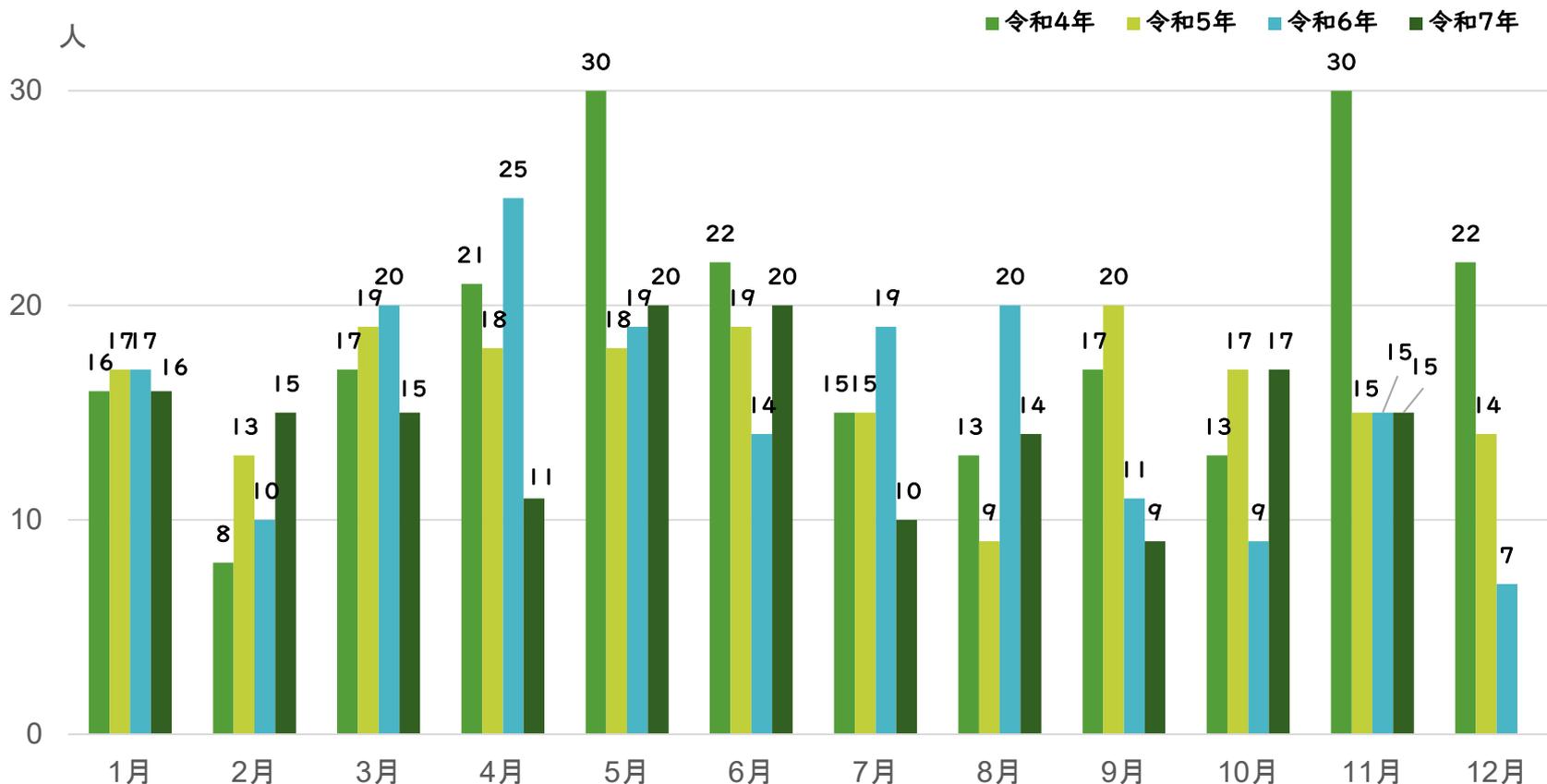
○ 最も多いのは健康問題（身体の病気）であり、次いで健康問題（精神疾患）、家庭問題、経済・生活問題となっている。



（出典）警察庁の自殺統計に基づき厚生労働省公表「地域における自殺の基礎資料」及び県警提供資料  
※1人につき4つまで原因が計上可能であるため、自殺者数とは一致しない。

## 月別の対前年自殺者数（秋田県・男女計）

- 令和7年の自殺者数の累計は11月時点で162人であった。
- これは、前年同月時点比で17人減となっている（前々年同月時点比△18人）。



## 子ども・若者の自殺者数

- 近年、全国的に、子ども・若者の自殺者数が増加傾向にあり、喫緊の課題となっている。
- 令和7年3月28日に公表された警察庁・厚生労働省の自殺統計によると、全国の令和6年の小中高生の自殺者数は、529人（令和5年：513人）と、統計のある昭和55年以降過去最多となっている。

## 秋田県の小・中・高生の自殺者数

令和4～6年	10人
令和6年	4人

（警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室集計：住居地）